

第6学年 「水泳運動（背泳ぎ）」（※背泳ぎを中心とした4時間の小単元とする）

※第5学年で「安全確保につながる運動」を十分に扱い、かつクロール、平泳ぎがある程度習熟している場合

1 単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	背泳ぎの行い方を理解するとともに、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができるようにする。	自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	背泳ぎに積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができるようにする。
評価規準	<p>知識・技能</p> <p>① 背泳ぎの行い方について、言ったり書いたりしている。</p> <p>② 背泳ぎで、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く泳ぐことができる。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>① 自己の課題を見つけ、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。</p> <p>② 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>① 背泳ぎに積極的に取り組もうとしている。</p> <p>② 水泳の心得を守って安全に気を配っている。</p>

2 単元の指導と評価の計画

時間	1 (導入)	2 (習得)	3 (活用)	4 (まとめ)
0	挨拶、健康観察			
10	単元のめあて、水泳の心得の確認	めあての確認・準備運動・シャワー		
15	準備運動・シャワー	活動Ⅰ 背泳ぎにつながる補助運動		
25	活動Ⅰ 背泳ぎにつながる補助運動	活動Ⅱ 背泳ぎ (腕の動きを中心に)	活動Ⅱ 背泳ぎ (自分の課題に合った解決方法を試す)  ※技能のチェックタイムも含む	
40	活動Ⅱ 背泳ぎ (キックを中心に)	振り返り（※ワークシートへの記入は教室で）		
45	整理運動、健康観察、挨拶			
知・技		① (観察、ワークシート)		② (観察)
思・判・表			①② (ワークシート)	
態度	② (観察)			① (観察・ワークシート)